



新年のごあいさつ



担当理事 牛尾剛士

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新春を迎えられたことと存じます。

今年から、いよいよ医療費削減対策の一つである特定健診が始まります。生活習慣病対策を推進していくことは、一方では医療費増大を惹起させる恐れがあるといわれています。問題のある特定健診ではありますが、現在当検査センターでは医師会会員の先生方にご負担のないように特定健診を円滑に実施できる仕組みづくりを検討しております。

他方、今年は診療報酬の改定もあり、医療費削減の大きな流れの中で医療業界は厳しさを増すばかりです。引き続き当検査センターでは、厳しい状況ながら、継続して品質とコストとのバランスを考慮した内部改善に取り組んでまいります。さらに昨年9月から検査科のリーダー制を敷き、情報伝達をこれまで以上にスムーズにする役割を担うとともに、人材育成を考慮した新たな体制づくりの一步を踏み出しました。加えて、精度保証室を充実し、検査の標準化とコスト管理をマネジメントできる体制を構築しているところです。

会員の先生方へは、引き続き迅速な検査結果報告が可能なカルテ情報ファイリングシステム Doctor's Desk Light（通称 DDLight）の展開等を通じて、IT化支援を積極的に行っています。昨年は DDLight ご利用の先生方のご要望をお聴きし、広島市医師会臨床検査センターオリジナル仕様としてより使いやすく改良しました。

学術情報部門では、『症例報告（～No.14）』の発刊に際して多くの会員の先生方にご協力を賜りました。医療機関向けの勉強会（出前勉強会）についても多くの医療機関からご要望いただきました。いずれも会員と検査センターとを双方向でつなぐ新たなコミュニケーションの場として機能してきたようです。

他の検査センターとは異なり、精度管理やサービスの充実により会員の先生方に安心、安全をお届けできる検査センターとして、さらなる努力をいたします。ご意見やご希望等ありましたらご遠慮なくお申し付けください。

本年もどうかお引き立ていただきますよう、よろしく願い申し上げます。